

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

○認知症カフェ

『さやりん おれんじカフェ』の周知
～カフェでサポーター養成講座実施～

○認知症サポーター養成講座

2018.4～1 : 延べ 25 回 1,083 名]

医療機関・地区福祉委員会・
小学生・福祉関連イベントにて



○おれんじパートナー養成講座

→講座終了後、活動の具体化に向け、定例会にて協議中。

□パートナーからの意見

『何をしたいか。どうしたいかをご本人によって異なる。話を伺うことが重要。』

○おれんじパートナー定例会 ～本人・家族が望む活動とは～



○小学校認知症サポーター養成講座開催 (5 / 7 校)

【前年比+ 1 校】

→地域活動との連動に向け、身近なおれんじカフェを紹介

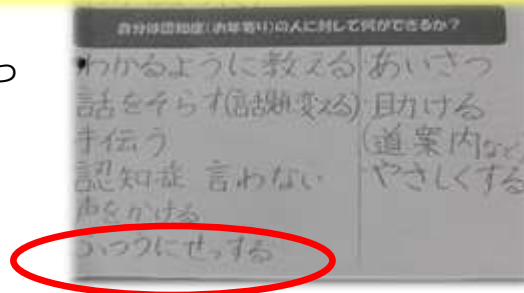
・小学校でのサポーター養成講座での意見

『自分が認知症の人にできることは
普通に接する。』

推進員の役割は・・・

普通に接して支障ないよう病気を知ってもらうこと。

道迷い当事者が小学生の通報で、早期発見につながった事案などあり。



○市広報誌への認知症特集ページ掲載



【市広報 記事】

Ⅱ 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- 市内病院（5／7ヶ所）における認知症サポーター養成講座 【前年比+2病院】
医療機関より依頼を受け、尊厳ある対応を再確認してもらう。

- 介護事業者への関与について

専門職間の連携強化に向けた意見交換実施。

個別事例におけるつなぎ実施に加え、ケア技法における情報提供。

- 認知症発症予防・進行予防に関する取り組み

関心の高い『発症予防』に着目し、進行予防・

認知症の症状・対応、受診について講演計画

【平成31年6月にて調整中】

- かかりつけ医と専門医の連携

かかりつけ医と専門医（認知症疾患医療センター・サポート医等）が連携し、本人の医療体制を構築できるよう支援が必要。

- 対応力向上における取り組み

個別事例を通じての連携機会の見直しを提案し、向上研修・意見交換会の開催狙う。

- SOSネットワーク体制の見直しツール
（さやりん おれんじカード）作成

- ケアパス（第一版）の見直し

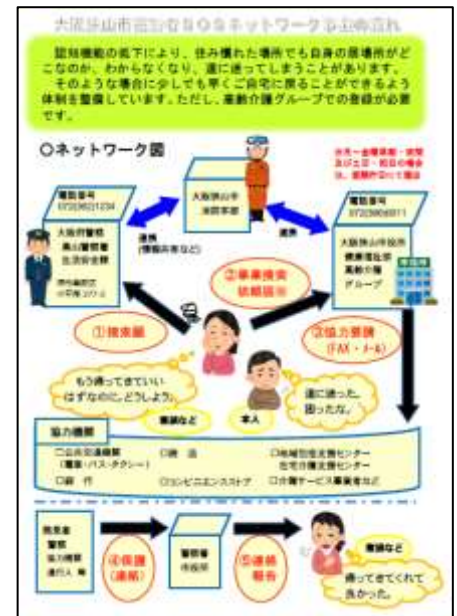
平成31年度での発行を目標に、掲載内容見直し。

→本人・家族が見て、今すべきことがわかる内容の抜粋など

- 医療・介護関係者による支援内容の役割確認(ライフサポート研修など)の実施検討

→予防講演会実施後に展開を再考。

- 認知症疾患医療センターとの連携による医療・介護体制の構築



【SOS ネットワーク図】

Ⅲ 若年性認知症の人やその家族への支援

- 若年性認知症の本人・家族が孤立しない周知・場の提供
→おれんじパートナーの協力を得て、**本人・家族の話を聞く機会づくりを計画。**

平成31年度での開始見込む。



【おれんじパートナー意見交換】

Ⅳ 認知症の人の介護者への支援

- 初期集中支援チーム等による負担軽減

運営協議への参画・チーム稼働後の周知支援(支援)。

- 本人・家族がチームの存在を知ることができるよう周知を行うことが必要。

チームの円滑な運用に向けた支援体制の構築・人員確保必要。

- 認知症カフェの運営支援

→協議の場の実施。

認知症サポーター養成講座の合同企画により、本人・家族の脚を向ける企画実施。

【2ヶ所にて実施 2～3名→10名/回】

※定着する手段および来店多い時間帯を協議中。



【認知症カフェチラシ 裏面第3版】

- 認知症カフェへの本人・家族の参加

ケアマネジャーへの周知・地域包括支援センター面談時における利用提案。場を想像できるような周知方法として、広報チラシに写真を掲載。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

●商店やスーパー・コンビニ、ドラッグストアなどでの認知症のある人への理解・適正な声かけなどについて、チラシを作成し、呼びかける機会を想定するも、チラシ発行許可出ずに見合わせ。

○SOSネットワーク事業

より一層の活用と周知を兼ね、SOSネットワーク体制の見直しおよびツール（さやりん おれんじカード）作成

○成年後見制度の周知について

個別対応に加え、市民向け講演会を開催。
定期（年1回程度）開催も検討。

●予防を目的とした講座開催

講座を通じ、地域活動などへの参加、サークル活動を進める。つながりからの早期発見機能が働く。

●思いを聞く場の開設検討

○サポーター養成講座における本人の思いを伝える。

○公共の場で目に付く周知・場の開始。

例) ソフトボール大会

RUN 伴タスキリレー開催

RUN 伴プラスイベント（講座、ロバマスコットづくり、和太鼓演奏）



VI 会議や研修等の実施及び参画

○行政担当者・推進員との定例会議（月1回）

○キャラバンメイト連絡会（不定期／2～3ヵ月ごと）

○認知症疾患医療センター連絡会議（月1回）